

# 行政評価シート

事務事業名	出産祝金支給事業			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	子育て支援課	担当係	子ども家庭係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	②子育て家庭の負担軽減
取組事項	Ⅱ. 子育て家庭の経済的負担の軽減

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	次代を担う子どもの出生を祝うとともに健やかな成長を願い、出産の祝い金として支給している。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	出産祝金を支給した。令和元年度までは1人1万円。 令和2年度から第2子目5万円、第3子以降10万円に増額した。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	前年度対比増減率			指標の単位	人
指標の説明	当年度支給件数／前年度支給件数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	334	326	277	301	282
実績(見込)値	326	277	301	282	315
達成度(%)	97.6	85.0	108.7	93.7	111.7
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	進展が大きくない				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	支給件数は減少傾向にあるが、多子世帯を増額した令和2年度は9月末現在で前年度よりも約11%増えており、一定の効果が見込まれる。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	出産祝金を支給することで、乳児用の商品購入費用として活用でき、経済的負担を抑制する効果があるため、現状のまま継続する。

# 行政評価シート

事務事業名	子ども医療費助成事業			事業開始年度	
担当部	市民部	担当課	国保年金課	担当係	医療給付係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	②子育て家庭の負担軽減
取組事項	Ⅱ. 子育て家庭の経済的負担の軽減

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	子育て支援の一環として、出生から18歳までの子どもを対象に保険診療医療費の一部負担金及び食事療養費定額分を助成することにより、子育て家庭の医療費負担の軽減を図る。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	子どもの医療費の助成及び国保会計にたいして医療助成の繰り出しを行った。
------	-------------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	医療助成費(扶助費)			指標の単位	千円
指標の説明	医療助成費(実績における伸び率により算定)				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	200,673	201,690	205,725	203,952	193,155
実績(見込)値	194,638	195,045	195,232	191,233	
達成度(%)	96.9	96.7	94.8	93.7	
指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	子育て支援の一環として、医療の経済的負担軽減を図れた。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	現状を維持しながら、安心して疾病の早期治療ができるよう市民の利便性を図っていく。

# 行政評価シート

事務事業名	予防接種事業(乳幼児・学童)			事業開始年度	
担当部	保健福祉部	担当課	健康増進課	担当係	予防係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(1)子どもを産み育てやすいまちをつくれます
施策 (手法)	②子育て家庭の負担軽減
取組事項	Ⅱ. 子育て家庭の経済的負担の軽減

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	予防接種法に基づき、伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防する。疾病を予防することにより市民が公衆衛生の向上、健康な生活が営まれる。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	乳幼児、学童に対して、法定伝染病(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ、日本脳炎、麻しん、風しん、結核、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎)の予防接種を無料とする。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	各予防接種の接種率			指標の単位	%
指標の説明	接種者数を対象者数で除して接種率とする。				
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値	95	95	100	100	100
実績値	80	81	92	88	
達成度(%)	84.2	85.3	92	88	
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R元	R2
目標値					
実績値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	乳幼児の予防接種についてはほぼ90%の接種率となっているが、年齢が上がると接種率が低くなる傾向があるため、適切な周知等を実施しなくてはならない。年齢による接種であるため、年度対象人数による接種率が上下する場合がある。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	定期接種(法定)の無料化により、乳幼児の疾病発生が下がることは間違いなく、乳幼児の接種率が90%を超えているが、学童期に入ると接種率が下がってきてしまうので、乳幼児期の習慣を持ったまま学童期の接種につなげていく。